

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2023/05/23

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	34.46	0.09
JPY/THB	0.2487	-0.0007
USD/JPY	138.60	0.62
EUR/THB	37.29	0.13
EUR/USD	1.0813	0.0008
USD/CNH	7.047	0.022
SGD/THB	25.60	0.09
AUD/THB	22.92	0.06
USD/INR	82.83	0.16
USD Index	103.20	0.00

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.195	0.001
10Y (THB)	2.507	-0.002
5Y (USD)	3.762	0.030
10Y (USD)	3.715	0.042

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,977.2	-4.4
WTI (Oil)	71.99	0.44
Copper	8,127.5	-124.0

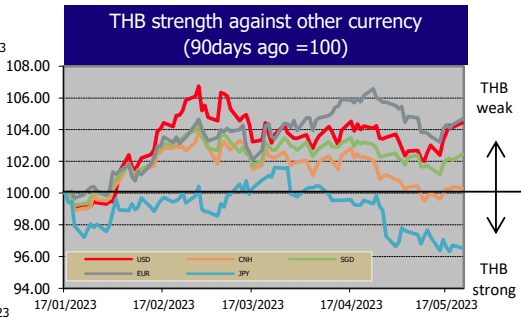
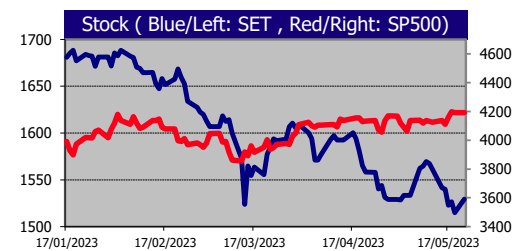
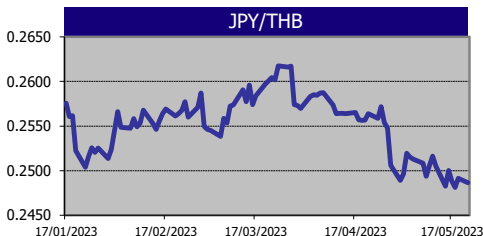
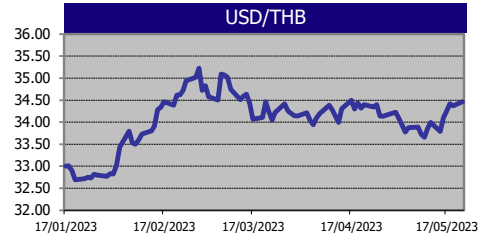
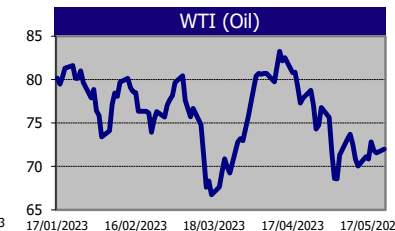
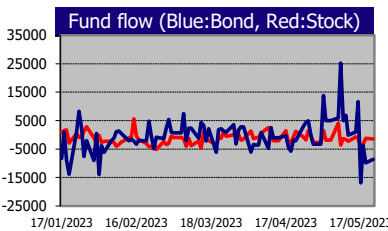
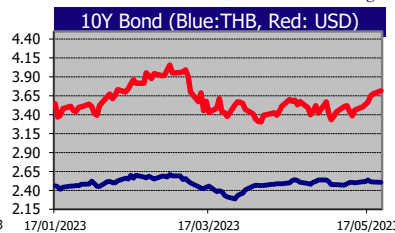
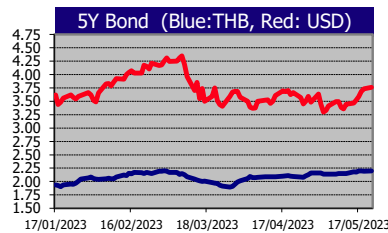
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,529.24	14.35
NIKKEI (JP)	31,086.82	278.47
DOW (US)	33,286.58	-140.05
S&P500 (US)	4,192.63	0.65
SHCOMP (CN)	3,296.47	12.93
DAX(GER)	16,223.99	-51.39

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,469)	-275.9
Bond net flow	(8,583)	1205.3

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは小幅に上昇。34/パーツ台半ば付近で取引を開始。先週末の中国当局による元安率制、パウエルFRB議長によるハト派発言、債務上限交渉問題の停滞等が材料視される中、序盤こそ上値重い場面を見せるも、ドル人民元が早々に反発するとドルパーツも上昇に転じ、バンコク時間終盤には先週末の下落をほぼ取り戻す展開に。海外時間にはFed高官のタカ派発言や、「米国防省近くで大規模爆発」というフェイクニュース等に上下しながらも、レンジ内での推移に留まり、結局34.46レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は上昇。137円台後半で取引を開始すると、序盤は先週末の流れを引き継ぐ格好で軟調に推移。ただ、人民元の反発を横目にドル円が下げ止まると、日経平均株価の堅調な推移も相俟って138円ちょうど付近まで上昇。海外勢参入後はブロード・セントルイス連銀総裁の「(政策金利を)年内さらに0.50%上げる必要があるかもしれない」といった発言に138円台半ばまで上値を伸ばした。途中、「米国防省近くで大規模爆発」というヘッドラインに下落する場面を見せるも、フェイクニュースであることが判明すると、直ぐに値を戻し、そのまま138.60レベルでクローズを迎えた。

Bangkok Dealer's Eye

タイの総選挙以降、次期連立政権に対する不透明感から、ドルパーツはややボラタイルな相場となっております。加えて、米国に起因する問題が様々燃っております。債務上限問題、米地銀問題、FEDの利上げ見通しが主なトピックで注視する必要があります。中でも6月FOMCについては、米連銀総裁から様々な発言が飛び交っております。タカ派の発言では、セントルイス連銀ブロード総裁「インフレ沈静化のために今年あと2回利上げを余儀なくされるだろう」。中立的な発言では、ミネアポリス連銀カシュカリ総裁「6月追加利上げが見送りかは、五分五分」。休止寄りの発言では、サンフランシスコ連銀デーリー総裁「与信環境の引き締めが2回の追加利上げに相当し得る」、アトランタ連銀ボスティック総裁「次回FOMCで金利据え置きを支持する」が主な発言内容になります。一方、19日、パウエルFRB議長は、「ここまで政策を進めてきたので、データや変わりつつある見通しを注視して慎重に分析する余裕がわれわれにはある」と述べ、6月利上げ休止の姿勢を示しております。引き続き、FED高官発言には、注視して行く必要があります。(前川)